

4 もぐもぐ日記[®]

歯科医院における食事指導が注目を集めているのは、形態的・機能的に口腔内を評価し、「食べる」を管理することによって、全身の健康へつなげることが求められているからです。なかには、栄養士や管理栄養士を雇用し、患者さんの食事や栄養バランスの指導を行っている歯科医院もあると思います。

定期受診に通っていただくなかで中年期から食事と栄養について意識してもらい、食事と口腔機能とのかかわりについて伝えながら、普段の食生活を見直すきっかけがつかれるとよいでしょう。ここで、「お食事相談サポートシステム『もぐもぐ日記[®]』」を紹介します。もぐもぐ日記[®]は、患者さんが撮影した食事写真から、その食事内容の栄養バランスがよいか、よく噛む食品であるかをアプリ上でAIで解析し、歯科医院での食事指導に活用するシステムです³⁾ (図2, 3)。

患者さんが撮影した食事写真は、連携されたモニタリングツールにより歯科医院でも確認でき、日ごろの食事内容と食習慣の変化がグラフィカルに可視化されます(図4)。独自のアルゴリズムにより、記録内容に基づく患者さんへのアドバイス例も自動的に提供され、印刷することも可能です。そのため、食事指導に不慣れな場合や、日々の忙しい診療のなかでも、時間をかけずに簡便に食事指導を実施できます⁴⁾ (図5)。



図2 もぐもぐ日記[®] (アプリ上での患者さんの画面)

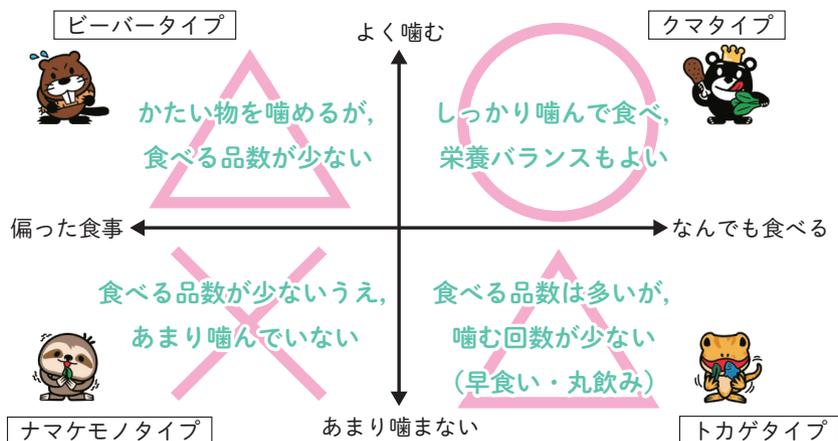


図3 食習慣タイプ (文献3) より許諾を得て改変・転載)
記録した食事内容は4つの食習慣タイプに分類される